

助成事業実施報告書

団体名 キラリっ子ファミリーカフェ
代表者・役職名 氏名 代表 中村ひとみ

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調でお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないもの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

発達障害児の子育てを応援！～おしゃべりと子育てスキルの学びの場を～

2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

発達障害児が通う通級指導教室の「親の会」で行っていたおしゃべり会を、「発達に不安がある子の親なら誰でも入れる共感の場にしよう！」という声が挙がり、2017年1月に創設しました。月に一度の同じ悩みを持つ親同士で共感・励ましやアドバイスを分かち合う場であるおしゃべり会のほか、講座やリフレッシュイベントを行っています。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

自閉症スペクトラム・ADHD・学習障害といった「発達障害」「傾向がある」といわれる子どもたちは、現在クラスの1割はいると言われています。集団生活になじみにくい特性を持つために、園や学校に不適応を起こしやすい傾向があります。保護者はそれに対応する術がわからず、育てにくさを感じたり周りに相談できなかったりして、親子共に孤立することが多いのです。そこで、保護者を支援し孤立から救うことで、親子関係を改善、発達障害の子どもたちをよりよく成長に導くことを目的に掲げています。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

- ①おしゃべり会「ファミリーカフェ」…月に一度、子育ての悩みや不安をお互いに話したり、情報交換したりする場を設けました。
- ②勉強会…保護者に発達障害への知識やスキルを身につけてもらうために、今年度は「学校と保護者の連携」「進学・自立に向けての先輩ママ座談会」の講座、それに加えておしゃべり会の際「傾聴」「不登校」のミニ講座を行いました。
- ③リフレッシュタイム…「手打ちうどん体験」「アロマワークショップ」を行いました。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

今年度プロジェクトの参加者は138名(行政共催の会も含む)で、昨年度の約90名から大幅に増加しました。今年度は、行政の協力を得て、月に一度のペースで通信を発行、おしゃべり会のレポートや発達障害についてのコラムを載せて市内小学校中学校の特別支援教室利用者に配布しました。また、立川市外にも口コミや協力団体のつながりによって本団体の知名度が広がったこともあります。グループLINEの登録者も50名に増え、おしゃべり会以外でも情報交換や励まし合いを盛んに行っています。活動の基盤が強固になってきたことで行政との連携の幅も広がりました。3年度は市との協働事業として、おしゃべり会や講座の運営を行っていくことになりました。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

創立3年目となり、市の子ども家庭支援センターや教育支援課と連携の形が整ってきました。3年度は正式に市との協働事業となつたことで、より連携を高め、発達障害を持つ子どものためにさまざまな面からのサポートを可能にしていくことを目指します。課題はスタッフの育成です。当事者の保護者で運営をしていますが、皆子育てや仕事を抱えながらの活動でできることに限界があります。人数を増やすことで個々の負担を減らしていく必要をかんじています。

7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

[参考資料あり] ・ 特になし

